



新年の ご挨拶



国土交通省
中部地方整備局長
茅野 牧夫

平成28年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日本道路建設業協会 中部支部の皆様におかれましては、平素より中部地方整備局の事業の推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、9月の台風17号18号は、各地に甚大な被害をおよぼし、中部管内の災害対応、自治体への支援に加え、関東や東北へTEC-FORCE(大規模災害発生時に被災地を支援するために派遣される国土交通省の組織)を派遣し、排水支援などを行いました。被災された地域の一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

また、去年は、伊勢志摩サミット開催が決定され、11月には国産初のジェット旅客機「MRJ」が初飛行するなど、中部地方の飛躍的な発展に向け、地域の期待も大いに高まっているところです。

こうした中、中部地方整備局では、地域の防災力を高める防災・減災対策に加えて、インフラの老朽化対策を戦略的に推進するとともに、ストック効果を発揮する社会基盤の充実・強化と、リニア開業を見据えた地域づくりに全力で取り組んで参ります。

更に、建設産業は、地域づくりの担い手として、災害時

の地域の守り手として必要不可欠であり、完全週休二日制、若手や女性技術者の登用・育成など、魅力ある建設産業の持続的な発展に取り組んで参りますので、今年も引き続き、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、日本道路建設業協会 中部支部の皆様にとって、幸多き年であることを心より祈念し、年頭のご挨拶といたします。

